

事業者行動(計画・変更計画・報告)書

令和5年 7月 25日

(宛先)
滋賀県知事

提出者

住所(法人にあつては、主たる事務所の所在地)
滋賀県守山市三宅町436-1

氏名(法人にあつては、名称および代表者の氏名)
東洋ビジュアルソリューションズ株式会社 守山製造所

滋賀県CO₂ネットゼロ社会づくりの推進に関する条例

第25条第3項・第25条第4項
第27条第1項・第27条第2項において準用する同条例
第26条第1項
第27条第2項において準用する同条例第26条第1項

第25条第4項の規定に基づき、
[事業者行動計画を策定 (変更) 事業者行動報告書を作成] したので、提出します。

事業者の氏名 (法人にあつては、名称および代表者の氏名)	東洋ビジュアルソリューションズ株式会社 代表取締役社長 西村 育哲
事業者の住所 (法人にあつては、主たる事務所の所在地)	東京都中央区京橋2丁目2-1

1 事業者の概要

事業所の名称	東洋ビジュアルソリューションズ株式会社 守山製造所								
事業所の所在地	滋賀県守山市三宅町436-1								
主たる事業	日本標準産業分類 細分類番号	1	6	4	4	※ 産業分類・細分類名称を記載 塗料製造業			
事業の概要	表示材料関連製品の製造・販売								
従業員の数	210	人	作業時間	24 (8:30~翌8:30)	時間/日				
該当する事業者の要件	<input checked="" type="checkbox"/>	原油換算エネルギー使用量が、年間1,500キロワット以上の事業所を県内に有する事業者							
	<input type="checkbox"/>	従業員数が21人以上であつて、エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガス排出量が、二酸化炭素換算で年間3,000トン以上の事業所を県内に有する事業者							
	<input type="checkbox"/>	任意提出事業者							
主要な設備	ボイラ	3	台	熱源設備	17	台	照明設備	1200	台
	コンプレッサ	12	台	空気調和設備	32	台	その他	ガスエンジン発電装置	

2 計画期間(および報告対象年度)

計画期間	開始年度	2022	年度	報告対象年度	2022	年度
	終了年度	2022	年度			

3 計画の(内容・実施状況)

計画の(内容・実施状況)	別添のとおり
--------------	--------

注 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とします。

1 CO₂ネットゼロ社会づくりに係る取組に関する基本的な方針

2050年度カーボンニュートラルに向けた東洋インキグループの中長期目標としては、2030年度における国内CO₂排出量を2020年度比35%削減を目標としている。

守山製造所は地球環境の保護・保全が世界的な重要課題である事を認識し、地球環境に影響を及ぼす事業活動、製品・サービスの提供とそれらに付随する事項について、様々な視点から環境汚染を防止する事に努める。社員全員参加の活動によりEMSの継続的改善を図り、スペシャリティーケミカルメーカーとして自然との共生を目指すものとする。

1. 電力消費の削減。温暖化ガス発生抑制。
2. 環境負荷物質の排出量削減のため、3R(リサイクル、リユース、リデュース)に努める。
また、省エネルギー、省資源な製品開発及び製法改善を推進する。
3. 環境側面に関する適用可能な法規制、条例と守山製造所が同意する要求事項を遵守し、環境保護・保全活動に取り組む。
4. 守山製造所が展開する環境活動については、東洋インキグループ CSR報告書等で社員に周知徹底すると共に、一般の人にも入手可能とする。

2 取組の推進体制

【職位の役割、責任及び権限】

- ◆製造所長(経営者)
 - ・製造所のEMS、製品に由来する所の環境影響について最終的な責任を負う。
 - ・公害防止に関する責任者として関係法規に定められた責務を果たす。
 - ・製造所の環境方針の制定と実施、環境目標の承認をする。
 - ・専門的な技能、技術及び必要な人的資源、財政的資源を確保する。
 - ・緊急事態発生に際し、その発令及び対応を指揮する。
 - ・環境管理責任者を任命する。
 - ・経営者ヒアリングを行う。
- ◆環境管理責任者
 - ・製造所長に任命された環境管理責任者は、以下の役割、責任及び権限を持つ。
 - ・製造所で実施するEMSを確立し、維持向上を図る。
 - ・製造所の環境目標を制定し、所長の承認を得た後推進する責任と権限を持つ。
 - ・EMSの不適合に対する是正処置を指示し、実施させる権限を持つ。
 - ・内部環境監査を計画し実施する。
 - ・経営者ヒアリング等で製造所長に対しEMSの実施状況を報告する。
 - ・EMSに関する外部関係機関との情報連絡とフォローを行う。
 - ・法令管理責任者として、システムに関する環境関連法規制の情報を入手する。

3 これまでに取り組んできたCO₂ネットゼロ社会づくりに係る取組

- ①モーターのインバーター化
- ②モーター運転時間を短縮
- ③照明の省エネ化(LED採用、人感センサー制御)
- ④散水、断熱による空調負荷低減
- ⑤コンプレッサ適正運転(夜間停止)
- ⑥ボイラー圧力の最適化
- ⑦重油使用機器のガス化
- ⑧デマンド監視システムによる冷凍機器の制御
- ⑨空調制御温度の変更
- ⑩社用車のハイブリッド化
- ⑪コージェネレーションシステムの導入
- ⑫電気式チラーの更新

(第2面)

4 自らの温室効果ガス排出量の削減に向けた取組

(1) エネルギー起源CO₂排出量の削減に向けた取組の内容等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1	設備導入	LED化に伴う電気使用量削減	2022年度	実施継続中
2	運用改善	電力削減(排気量低減、室圧変更等)	2022年度	変更後、実施継続中
3	運用改善	台数制御運転による過剰稼働の防止	2022年度	ガスボイラー台数制御 夏季:2台、冬季:1台
4	運用改善	デマンド監視システムによる日常管理	2022年度	アマゾンコントロールの実施 実績:デマンド値オーバーなし
5	設備導入	設備の更新	2022年度	未実施

(2) エネルギー起源CO₂以外の温室効果ガス排出量の削減に向けた取組の内容等

	温室効果ガスの種類	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1	HFCs	フロン類の確実な回収及び破壊への協力	2022年度	簡易点検:3ヶ月毎 定期点検:1年、3年毎
2				
3				

(3) 上記の取組により達成しようとする目標および目標の進捗に対する自己評価

目標の進捗に対する自己評価	
<p>○</p> <p>上記の取組み等により、以下の数値目標の達成を目指します。</p> <p>〔省エネの推進〕 エネルギー原油換算原単位目標 試算値比1%削減〔929.7ℓ/t以下〕</p> <p>〔CO₂の削減〕 CO₂排出量試算値比1.5%削減〔年度累計 4056.2t-CO₂以下〕</p>	<p>・各種省エネ施策によりエネルギー削減を推進。 ◆原油換算原単位 (1081.5ℓ/t、達成率83.7%) ・原油換算使用量は7.5%減少したものの生産量の減少により原油換算原単位は目標未達となった。</p> <p>◆CO₂排出量 (2414.9t-CO₂、達成率140.5%) ・7月より再生可能エネルギー由来のCO₂フリー電力プランへ変更。目標を大幅に達成。</p>

(4) 温室効果ガス排出量等の実績

	計画開始年度前年度の実績	実績報告					
		2022年度	()年度	()年度	()年度	()年度	
原油換算エネルギー使用量	kL	2,389	2,191				
温室効果ガス総排出量	t-CO ₂	3,886	2,406	0	0	0	0
エネルギー起源CO ₂	t-CO ₂	3,886	2,406				
非エネルギー起源CO ₂	t-CO ₂	0	0	0	0	0	0
CH ₄	t-CO ₂						
N ₂ O	t-CO ₂						
HFCs	t-CO ₂	0	0				
PFCs	t-CO ₂						
SF ₆	t-CO ₂						
エネルギー等原単位の推移		785.3	1081.5				

備考「温室効果ガスの種類別の排出量内訳」欄については、事業者行動計画の提出義務の要件に該当しない温室効果ガスの排出量は、記入する必要はありません。

(第3面)

5 再生可能エネルギー等の利用に関する取組

(1) 再生可能エネルギー等の利用に関する取組の内容等

■ 計画最終年度までの取組の内容等

	実施計画		実績報告
	取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1			
2			
3			
4			
5			

■ 中長期的な取組の内容等

	取組の内容
1	太陽光発電所施設設置計画(2024年)
2	
3	
4	
5	

(2) 所有する主な再生可能エネルギー設備

太陽光	kW	水力・小水力	kW	地熱	kW
太陽熱	kW	バイオマス	kW	その他 ()	kW
再エネ設備を効率的に利用する設備の導入実績					

(3) 再生可能エネルギー電気設備での発電量および自家消費量の実績

	計画開始年度 前年度の実績	実績報告				
		()年度	()年度	()年度	()年度	()年度
再エネ電気設備での発電量	kWh					
上記のうち自家消費量	kWh					

(第4面)

6 事業活動を通じた他者の温室効果ガスの排出削減によりCO₂ネットゼロ社会づくりに貢献する取組

(1) 取組の内容およびその実績

取組の内容等	取組の実施状況

(2) 上記の取組により達成しようとする目標および目標設定の考え方

目標および目標設定の考え方

(3) 上記の取組にかかる目標の進捗に対する自己評価

目標の進捗に対する自己評価

7 その他のCO₂ネットゼロ社会づくりに資する取組

(1) 調整後排出係数に基づく温室効果ガス排出量の推移

項目	単位	計画開始年度 前年度の実績	実績報告					
			(2022)年	()年	()年	()年	()年	
温室効果ガス 排出量の推移	t-CO ₂	3,886	2,411					
【調整後排出係数】	kg- CO ₂ /kWh	0.373	0.408 0.000					
特記事項	2022年7月より電力会社を変更							

(2) クレジット等購入

項目	単位	計画開始年度 前年度の実績	実績報告					
			()年	()年	()年	()年	()年	
グリーン証書の購 入	t-CO ₂							
クレジットの購入	t-CO ₂							
特記事項								

(3) 通勤や出張など人の移動および物流における脱炭素化の取組等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケ ジュール	
1	自転車利用 の促進	・自転車通勤手当の支給 ・駐輪場の設置	2022年	予定通り実施
2	通勤者の 交通対策	近隣駅までのシャトルバスを運用している	2022年	予定通り実施
3				

(4) 業務で使用する車輛の脱炭素化の取組

項目	単位	計画開始年 度前年度の 保有台数	実績報告				
			(2022)年	()年	()年	()年	()年
保有車輛の数	台	3	3				
上記のうち 次世代自動車の数	台	1	1				
特記事項							

(5) その他のCO₂ネットゼロ社会づくりに向けた取組等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組内容	実施 スケジュール	
1	環境マネジ メントシステム (EMS)	環境重点課題項目の進捗管理	2022年	計画通りに実施
2	3R	有価引取り化による廃棄物量の削減	2022年	計画通りに実施
3	その他	屋上及び空気取入口散水による空調設備電気使用量の削減	2022年	計画通りに実施
4				
5				